



2017年3月期第3四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2017年2月8日





2017年3月期 第3四半期累計実績

- 連結販売台数、連結売上高は第3四半期累計期間として過去最高を記録。
- 連結損益は、販売台数の増加や原価低減の進捗などがあったものの、エアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等並びに試験研究費の増加、為替変動が影響し減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆4,279億円 (+93億円)	3,068億円 (-1,290億円)	2,972億円 (-1,368億円)	2,075億円 (-1,303億円)	785.8千台 (+73.6千台)

2017年3月期 計画

- 前回予想（2016年11月2日公表）に対し、諸経費等の増加が見込まれるものの、為替変動の影響などを織り込むことにより上方修正。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績) (対前回計画)	3兆3,100億円 (+777億円)	4,100億円 (-1,556億円)	4,120億円 (-1,650億円)	2,900億円 (-1,467億円)	1,067.5千台 (+109.7千台)
	(+1,300億円)	(+370億円)	(+150億円)	(+120億円)	(+5.2千台)



2017年3月期 第3四半期累計 実績

第3四半期累計 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
登録車	75.9	83.1	+7.2
軽自動車	24.0	22.4	-1.6
国内合計	99.9	105.5	+5.6
米国	446.3	501.3	+55.0
カナダ	36.7	40.5	+3.7
ロシア	4.8	4.1	-0.7
欧州	28.6	29.8	+1.2
豪州	32.9	37.9	+5.0
中国	30.1	32.0	+1.9
その他	32.9	34.7	+1.9
海外合計	612.3	680.3	+68.0
合計	712.2	785.8	+73.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～9月

3

2017年3月期 第3四半期累計の連結販売台数は、第3四半期累計期間として過去最高となる、78万5千8百台となり、前年同期比で7万3千6百台の増加となりました。

国内では、軽自動車は前年同期比で1千6百台の減少となる2万2千4百台となりましたが、登録車は前年同期比で7千2百台の増加となる8万3千1百台となり、国内合計では前年同期比で5千6百台の増加となる、10万5千5百台となりました。

海外では、北米を中心に引き続き好調に推移し、前年同期比で6万8千台の増加となる68万3百台となりました。

第3四半期累計 連結業績



(億円)

	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	24,186	24,279	+93
国内	4,282	4,449	+167
海外	19,904	19,830	-75
営業利益	4,357	3,068	-1,290
営業外損益	-18	-96	-78
経常利益	4,340	2,972	-1,368
特別損益	465	16	-449
税前利益	4,805	2,988	-1,816
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,378	2,075	-1,303
単独為替レート	¥122/US\$	¥106/US\$	-¥15/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

次に、連結業績です。

売上高は、為替レート差により**-2,615億円**、

カンパニー等での売上減少により**-80億円**となったものの、

販売台数拡大による売上構成差の改善**+2,788億円**により、
前年同期比 **93億円**の増収となる **2兆4,279億円**となりました。

営業利益につきましては、

販売台数増加等による売上構成差の改善や、原価低減の進捗があったものの、

諸経費等や試験研究費の増加、為替変動が影響し、

前年同期比 **1,290億円**の減益となる **3,068億円**となりました。

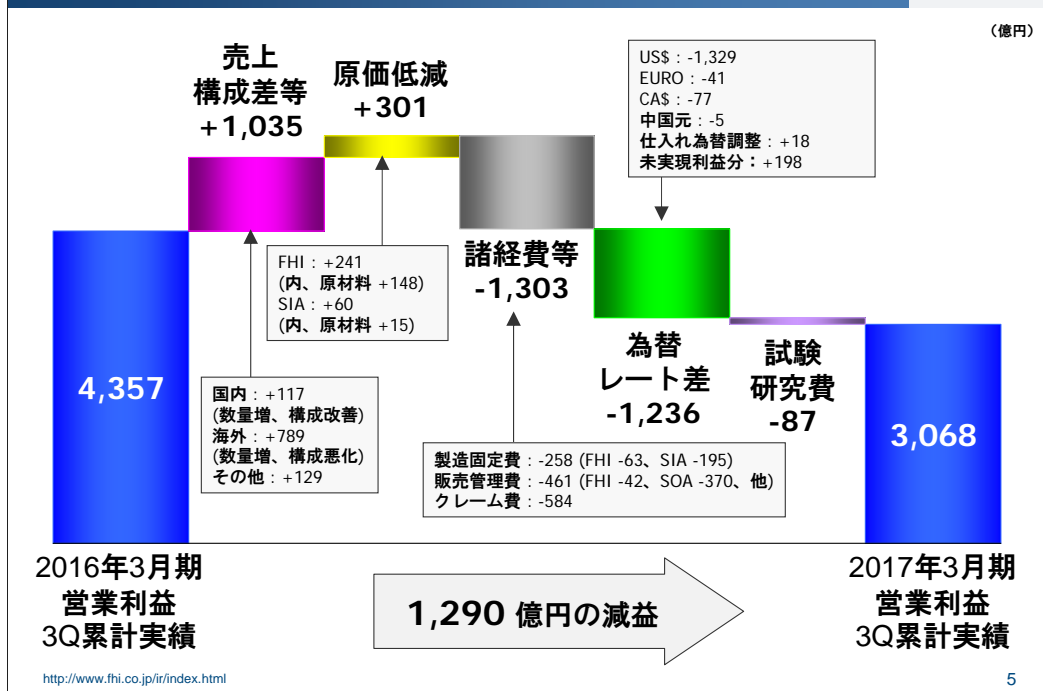
経常利益は**1,368億円**の減益で、**2,972億円**、

税前利益は、前年同期比で**1,816億円**の減益となる**2,988億円**となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は

前年同期比で **1,303億円**の減益となる、**2,075億円**となりました。

第3四半期累計 営業利益増減要因



続きまして、前期実績4,357億円から今期実績3,068億円へと、1,290億円の減損となった、営業利益の増減要因についてです。

増益要因は、

<1>売上構成差等で+1,035億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は+117億円です。

フォレスターおよびインプレッサなどの販売が好調に推移したことにより、売上台数は増加となりました。

②新車海外は+789億円です。

北米を中心に海外市場で売上台数が伸びたことが主因です。

③在庫調整等、その他で+129億円です。

<2>原価低減で+301億円です。そのうち、富士重工が+241億円、SIAは+60億円です。

富士重工では原価低減が+93億円、原材料・市況等については+148億円となりました。

SIAでは原価低減が+45億円、原材料等が+15億円となりました。

一方、減損要因は、

<3>諸経費等の増加で-1,303億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により-258億円です。そのうち、富士重工が-63億円、SIAは-195億円です。

富士重工では、外製型費の減により+10億円、固定加工費の増で-73億円です。

SIAでは、外製型費の増により-23億円、固定加工費の増により-172億円となりました。

②販売管理費の増加で-461億円です。

富士重工 -42億円、国内ディーラー -15億円、SOA -370億円、カナダ子会社 -35億円、

その他で +1億円となりました。

SOAにつきましては、広告宣伝費等が -22億円、インセンティブが-348億円となりました。

台当たりのインセンティブは、前年度は\$900、今年度は\$1,350と\$450の増加となりました。

③クレーム費の増で -584億円です。

<4>為替レート差で-1,236億円です。ドルは約15円の円高で-1,329億円です。

ユーロは約17円の円高で -41億円、

カナダドルは約14円の円高で -77億円、中国元は-5億円、

富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で+18億円、未実現利益分で+198億円となりました。

<5>試験研究費の増加で-87億円です。

以上で、2017年3月期 第3四半期累計の連結営業利益は、1,290億円の減損となる、3,068億円となりました。

連結貸借対照表



(億円)

	2016年3月末	2016年12月末	増減
総資産	25,924	26,440	+516
流動資産	17,841	17,468	-373
固定資産	8,083	8,972	+888
負債合計	12,430	12,412	-18
有利子負債	1,700	1,455	-245
純資産合計	13,494	14,028	+534
利益剰余金	10,490	10,981	+491
自己資本	13,437	13,969	+531
自己資本比率	51.8%	52.8%	+1.0
D/Eレシオ	0.13	0.10	-0.02

<http://www.tmi.co.jp/ir/index.htm>

6

続きまして、バランスシートです。

総資産は、前期末に対し**516億円**の増加となる、**2兆6,440億円**となりました。

有利子負債は、**245億円**の減少となる**1,455億円**、

純資産は、**534億円**の増加となる、**1兆4,028億円**となりました。

自己資本比率は**52.8%**、D/Eレシオは**0.10**です。

第3四半期累計 連結キャッシュフロー



(億円)

	2016年3月期 3Q 実績	2017年3月期 3Q 実績	増減
営業活動CF	4,343	2,164	-2,179
投資活動CF	-1,808	-1,665	+143
フリーCF	2,535	499	-2,036
財務活動CF	-1,102	-1,884	-782
換算差額	-13	60	+73
現金及び現金同等物の増減	1,420	-1,325	-2,744
連結の範囲変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	-1	0	+1
現金及び現金同等物 合計	7,539	6,970	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

連結キャッシュフローです。

営業活動によるキャッシュフローは、

税金等調整前純利益の計上2,988億円、未払費用の増加582億円、法人税等の支払い2,015億円等により、2,164億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、

生産能力増強などに伴う投資活動や貸付けによる支出等により、1,665億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、499億円です。

財務活動によるキャッシュフローは、

配当金の支払や、自己株式の取得による支出等により

1,884億円のキャッシュアウトとなりました。

第3四半期累計 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	11,589	13,454	+1,865
営業利益	657	609	-48
当期純利益	404	376	-28
小売販売台数(千台)	449.9	481.6	+31.7

SIA	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	3,967	5,293	+1,326
営業利益	135	132	-3
当期純利益	87	80	-7
スバル生産台数(千台)	171.3	232.2	+60.9

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売台数は、アウトバック、レガシィの販売が好調に推移したことにより、対前年3万1千7百台増の48万1千6百台となりました。

売上高についても、\$1,865Mの増収となる\$13,454Mとなりました。

営業利益につきましては、数量・構成差+\$256M、
販管費の増▲\$304Mにより、\$48Mの減益となる\$609Mとなりました。

SIAの売上高は、前年に対し+\$1,326Mの\$5,293Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$107M、原価低減活動+\$49M、
固定費増▲\$159Mにより、対前年▲\$3Mとなる\$132Mとなりました。



2017年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減
登録車	111.6	127.5	+15.9
軽自動車	33.7	34.0	+0.3
国内合計	145.3	161.5	+16.2
米国	582.7	667.4	+84.7
カナダ	47.6	52.9	+5.3
ロシア	5.7	5.6	-0.1
欧州	41.8	41.1	-0.7
豪州	44.6	49.5	+4.9
中国	44.4	44.0	-0.4
その他	45.8	45.6	-0.2
海外合計	812.6	906.1	+93.5
合計	957.9	1,067.5	+109.7

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 10

続いて、通期見通しについてご説明します。

今回、2016年11月2日に発表しました前回計画より変更しておりますが、まずは前年実績との比較からご説明します。

2017年3月期通期の連結販売台数は、

国内で、前年同期比1万6千2百台の増となる、16万1千5百台、

海外で、9万3千5百台の増となる、90万6千1百台を計画し、

合計では、106万7千5百台と、5年連続での過去最高販売台数更新を計画します。

通期計画 連結業績



(億円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減
売上高	32,323	33,100	+777
国内	6,054	6,511	+457
海外	26,269	26,589	+321
営業利益	5,656	4,100	-1,556
経常利益	5,770	4,120	-1,650
税前利益	6,190	4,120	-2,070
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,367	2,900	-1,467
単独為替レート	¥121/US\$	¥108/US\$	-¥13/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

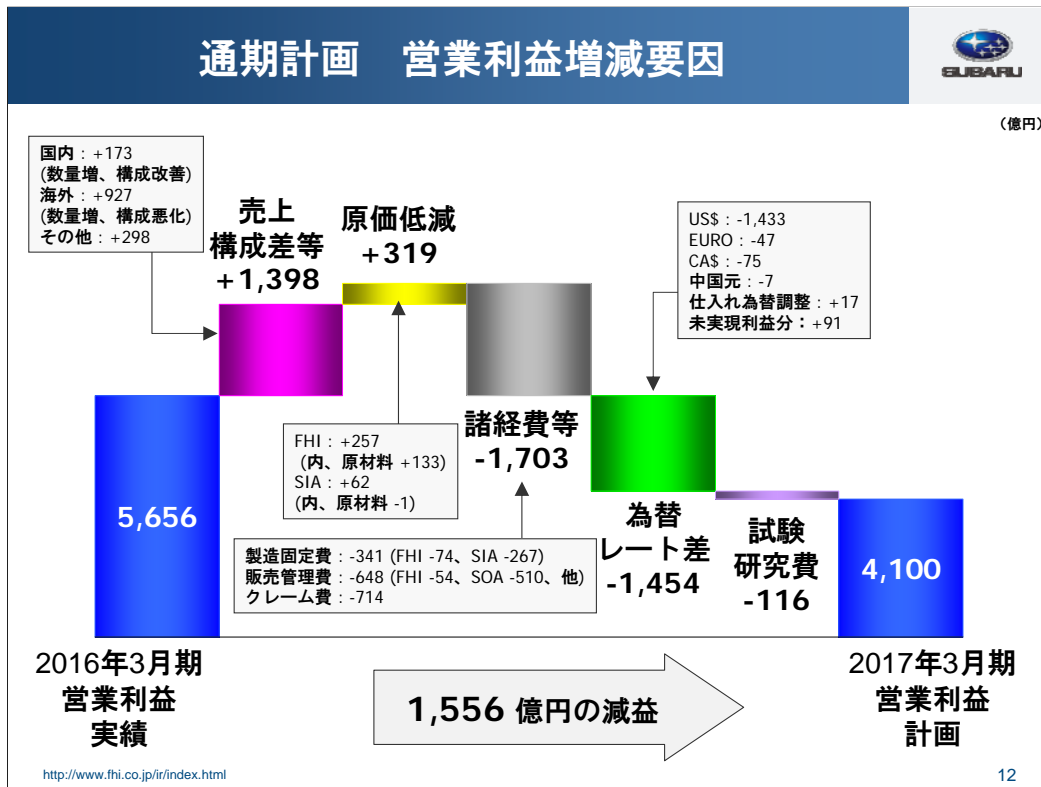
11

次に、連結業績計画です。

売上高は、販売台数増加による売上構成差の改善+3,697億円、為替レート差-2,881億円、カンパニー等での売上減少-39億円により、前年同期比777億円の増収となる、3兆3,100億円を計画します。

営業利益につきましては、売上構成差の改善、原価低減の進捗があるものの、諸経費等および試験研究費の増加、為替影響により、1,556億円の減益となる、4,100億円を見込みます。

経常利益は1,650億円の減益で4,120億円、税前利益は2,070億円の減益となる4,120億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,467億円の減益となる2,900億円の計画であります。



前期実績5,656億円から今期計画4,100億円へと、1,556億円の減益となる、営業利益増減要因についてです。増益要因は、

<1>売上構成差等で+1,398億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は+173億円です。

②新車海外は+927億円です。

③在庫調整等その他で +298億円です。

<2>原価低減で+319億円です。そのうち、富士重工が+257億円、SIAは +62億円です。

富士重工では、原価低減が+124億円、原材料・市況等については+133億円を見込みます。

SIAでは原価低減が+63億円、原材料等は -1億円を計画しています。

一方、減益要因は、

<3>諸経費等の増で -1,703億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により -341億円です。そのうち、富士重工が -74億円、SIAは -267億円です。

富士重工では、外製型費の減により +11億円、固定加工費の増により -85億円です。

SIAでは、外製型費の増により -44億円、固定加工費も増加を見込み -223億円です。

②販売管理費の増加で -648億円です。

富士重工は -54億円、国内ディーラーは -21億円、SOAは -510億円、カナダ子会社は -36億円、

その他で -26億円です。

SOAにつきましては、広告宣伝費等が -2億円、インセンティブが -508億円となります。

台あたりのインセンティブは、前年度\$900、今年度は\$1,450と\$550の増加となる計画です。

③クレーム費の増で -714億円です。

<4>為替レート差で-1,454億円です。ドルは約13円の円高で-1,433億円です。

ユーロは約14円の円高で -47億円、

カナダドルは約10円の円高で -75億円です。

中国元で-7億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で +17億円、未実現利益分で+91億円です。

<5>試験研究費の増加で-116億円です。

以上で、2017年3月期の通期営業利益は、1,556億円の減益となる、4,100億円を計画しています。

前回計画（2Q発表値）対比
通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 前回計画	2017年3月期 今回計画	増減
登録車	122.9	127.5	+4.6
軽自動車	35.7	34.0	-1.7
国内合計	158.6	161.5	+2.9
米国	661.7	667.4	+5.8
カナダ	52.5	52.9	+0.4
ロシア	5.4	5.6	+0.3
欧州	41.9	41.1	-0.8
豪州	49.2	49.5	+0.3
中国	44.5	44.0	-0.5
その他	48.7	45.6	-3.1
海外合計	903.8	906.1	+2.3
合計	1,062.4	1,067.5	+5.2

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~12月 13

次に前回計画からの変化についてご説明します。

連結販売台数は、

国内で前回計画比2千9百台の増、海外で前回計画比2千3百台の増、

合計では5千2百台の増を計画します。

前回計画（2Q発表値）対比
通期 連結業績



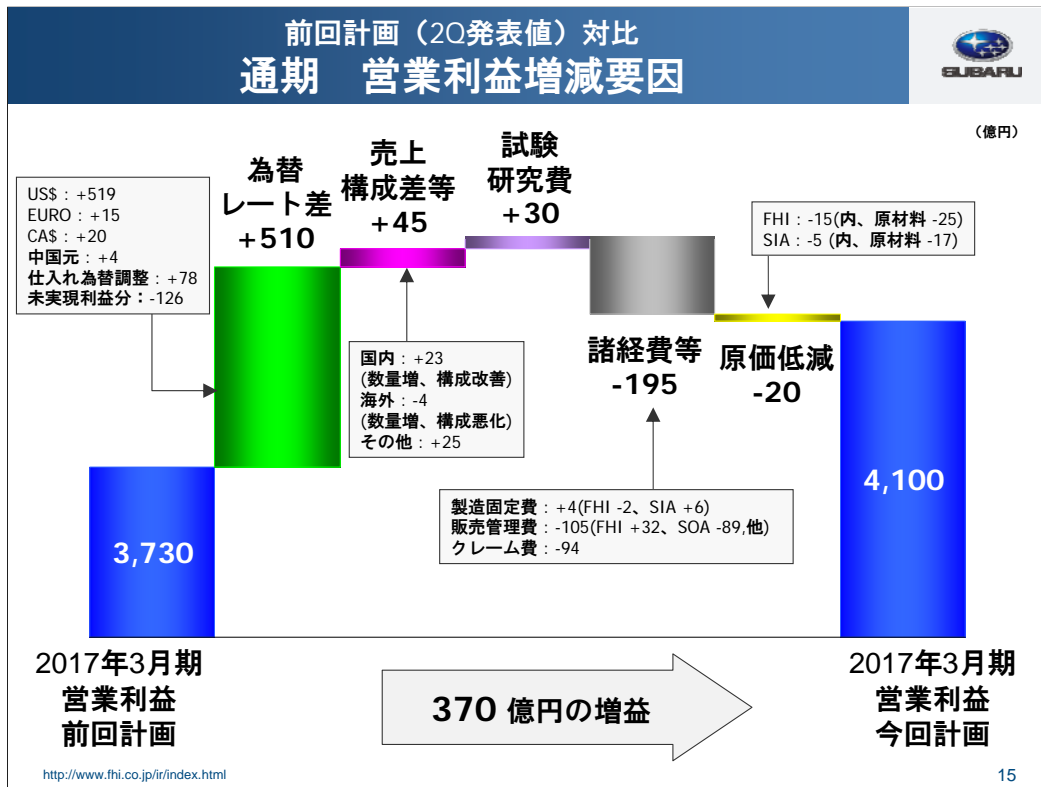
(億円)

	2017年3月期 前回計画	2017年3月期 今回計画	増減
売上高	31,800	33,100	+1,300
国内	6,463	6,511	+48
海外	25,337	26,589	+1,252
営業利益	3,730	4,100	+370
経常利益	3,970	4,120	+150
税前利益	3,970	4,120	+150
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,780	2,900	+120
単独為替レート	¥104/US\$	¥108/US\$	+¥5/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

連結業績計画は、
諸経費等の増加などが見込まれるものの、
為替変動の影響などを織り込むことにより、
前回計画に対し、
売上高は1,300億円の増収、
営業利益は370億円の増益、
経常利益は150億円の増益、
税前利益は150億円の増益、
親会社株主に帰属する当期純利益は120億円の増益を計画します。



続きまして、前回計画3,730億円から今回計画4,100億円へと、370億円の増益となった、営業利益の増減要因についてです。

増益要因は、

<1>為替レート差で +510億円です。

ドルは約5円の円安で +519億円。

ユーロは約4円の円安で +15億円。

カナダドルは約4円の円安で +20億円。

中国元は +4億円。

富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で +78億円、未実現利益分で-126億円となります。

<2>売上構成差等で +45億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は +23億円です。

②新車海外は -4億円です。

③在庫調整等その他で +25億円です。

<3>試験研究費の減少で +30億円です。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増加で -195億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の減少で+4億円です。そのうち、富士重工が-2億円、SIAは+6億円です。

富士重工では外製型費の減により+7億円、固定加工費の増により -9億円です。

SIA では、固定加工費の減により+6億円となります。

②販売管理費の増加で -105億円です。

富士重工 +32億円、国内ディーラー -7億円、SOA -89億円、カナダ子会社 -1億円、

その他で -40億円となります。

SOAは、広告宣伝費等が +5億円、インセンティブが-94億円となります。

台あたりのインセンティブは前回計画は\$1,300、今回計画は\$1,450と\$150の増加です。

③クレーム費で-94億円です。

<5>原価低減で -20億円です。

そのうち富士重工が-15億円、SIAは-5億円です。

富士重工では原価低減が+10億円、原材料・市況等については -25億円となります。

SIA では原価低減が +12億円、原材料等が-17億円となります。

以上で、2017年3月期通期計画の営業利益は、前回計画より370億円の増益となる、4,100億円となります。

通期計画 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減
売上高	15,203	17,876	+2,673
営業利益	770	703	-67
当期純利益	480	437	-43
小売販売台数(千台)	581.4	640.1	+58.7

SIA	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減
売上高	5,468	7,516	+2,048
営業利益	209	215	+6
当期純利益	134	133	-1
スバル生産台数(千台)	236.0	335.2	+99.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

16

米国子会社の業績についてご説明します。

SOAの通期小売販売は、アウトバック、レガシィ、クロストレック、フォレスターの販売好調により、対前年5万8千7百台増の64万1百台を目指します。

売上高は対前年+\$2,673Mの\$17,876Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$360M、販管費の増▲\$427Mにより、対前年\$67Mの減益となる\$703Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し+\$2,048Mの\$7,516Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差+\$179M、原価低減活動+\$50M、固定費増▲\$223Mにより、対前年+\$6Mとなる\$215Mを見込みます。

設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2016年3月期 3Q累計 実績	2016年3月期 通期 実績 (a)	2017年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	830	1,357	1,076	1,600	+243
減価償却費	473	650	541	800	+150
試験研究費	717	1,024	805	1,140	+116
有利子負債	1,865	1,700	1,455	1,550	-150

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17

最後に、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債についてです。

設備投資、減価償却費につきましては、前回計画より変更はなく、それぞれ**1,600億円**、**800億円**となります。

試験研究費につきましては、前回計画より**30億円減の1,140億円**、

有利子負債につきましては、前回計画より**50億円減の1,550億円**を計画しています。

なお、1株当たりの年間配当額につきましては、前回計画の**144円**より変更はありません。

次ページ以降は、セグメント情報や、各種指標など、ご参考となります。

以上で**2017年3月期 第3四半期決算**の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数

第3四半期累計 連結営業外収支／特別損益



(億円)

	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
金融収支	19	20	+1
為替影響	-14	-91	-77
その他	-22	-24	-2
営業外収支	-18	-96	-78
固定資産売却益	1	3	+2
投資有価証券売却益	2	101	+99
貸倒引当金戻入額	296	-	-296
固定資産除売却損	-31	-32	-2
事業終了損失	-	-50	-50
その他	196	-6	-202
特別損益合計	465	16	-449

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

19

第3四半期累計 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年 3月期 3Q累計 実績	2017年 3月期 3Q累計 実績	増減	2016年 3月期 3Q累計 実績	2017年 3月期 3Q累計 実績	増減
自動車	22,772	23,053	+281	4,203	2,987	-1,216
航空宇宙	1,102	964	-138	122	50	-72
その他*	312	262	-50	28	24	-4
消去・全社	/	/	/	5	7	+2
合計	24,186	24,279	+93	4,357	3,068	-1,290

* 2017年3月期第3四半期より報告セグメントの区分を変更、従来の「産業機器」は「その他」へ集約

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20

第3四半期累計 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年 3月期 3Q累計 実績	2017年 3月期 3Q累計 実績	増減	2016年 3月期 3Q累計 実績	2017年 3月期 3Q累計 実績	増減
日本	6,854	6,885	+31	3,314	1,940	-1,374
北米	15,370	15,480	+110	1,009	883	-126
その他	1,962	1,914	-48	8	66	+59
消去・全社				27	178	+151
合計	24,186	24,279	+93	4,357	3,068	-1,290

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

21

第3四半期累計 連結海外売上高



(億円)

	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
北米	16,221	16,180	-41
欧州	895	827	-69
アジア	1,616	1,581	-36
その他	1,172	1,242	+71
合計	19,904	19,830	-75

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

22

第3四半期累計 単独販売台数



(千台)

	2016年3月期 3Q累計 実績	2017年3月期 3Q累計 実績	増減
国内生産	530.2	543.1	+12.9
国内売上	108.4	113.8	+5.4
登録車	82.2	89.5	+7.3
軽自動車	26.2	24.3	-1.9
輸出台数	435.3	441.5	+6.2
海外生産用部品	176.3	259.0	+82.7
単独売上合計	720.0	814.3	+94.2

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23

ご参考 (2)

- ・ 第3四半期(3か月) 連結業績
- ・ 第4四半期(3か月) 連結業績計画

第3四半期（3か月） 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 3Q 実績	2017年3月期 3Q 実績	増減
登録車	26.1	30.7	+4.6
軽自動車	7.3	6.8	-0.5
国内合計	33.4	37.5	+4.1
米国	155.7	174.4	+18.7
カナダ	10.6	12.0	+1.4
ロシア	1.3	0.3	-1.0
欧州	9.0	11.3	+2.3
豪州	9.9	15.5	+5.6
中国	9.6	10.2	+0.6
その他	10.4	12.5	+2.0
海外合計	206.6	236.3	+29.7
合計	240.0	273.8	+33.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算7～9月 25

第3四半期 (3か月) 連結業績



(億円)

	2016年3月期 3Q 実績	2017年3月期 3Q 実績	増減
売上高	8,172	8,502	+331
国内	1,430	1,589	+159
海外	6,742	6,913	+172
営業利益	1,506	982	-524
経常利益	1,490	694	-795
税前利益	1,974	633	-1,341
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,446	437	-1,009
単独為替レート	¥121/US\$	¥105/US\$	-¥16/US\$

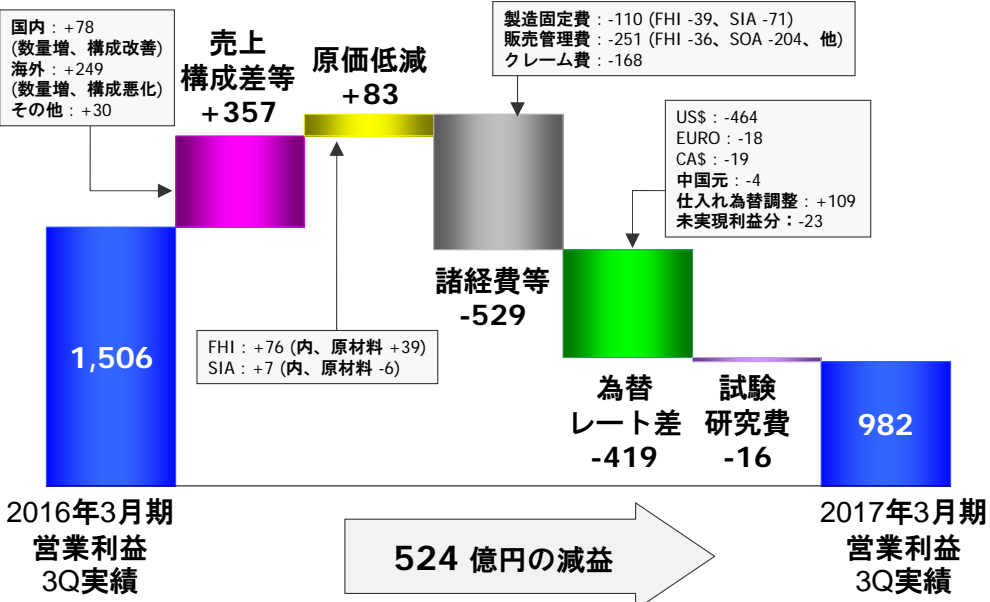
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

26

第3四半期 (3か月) 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

27

第4四半期(3か月) 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 4Q 実績	2017年3月期 4Q 計画	増減
登録車	35.7	44.4	+8.7
軽自動車	9.7	11.6	+1.8
国内合計	45.4	56.0	+10.6
米国	136.4	166.1	+29.7
カナダ	10.9	12.4	+1.5
ロシア	1.0	1.5	+0.6
欧州	13.2	11.3	-1.8
豪州	11.7	11.6	-0.1
中国	14.3	12.0	-2.3
その他	12.9	10.8	-2.1
海外合計	200.3	225.8	+25.5
合計	245.7	281.7	+36.1

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算10～12月 28

第4四半期（3か月） 連結業績



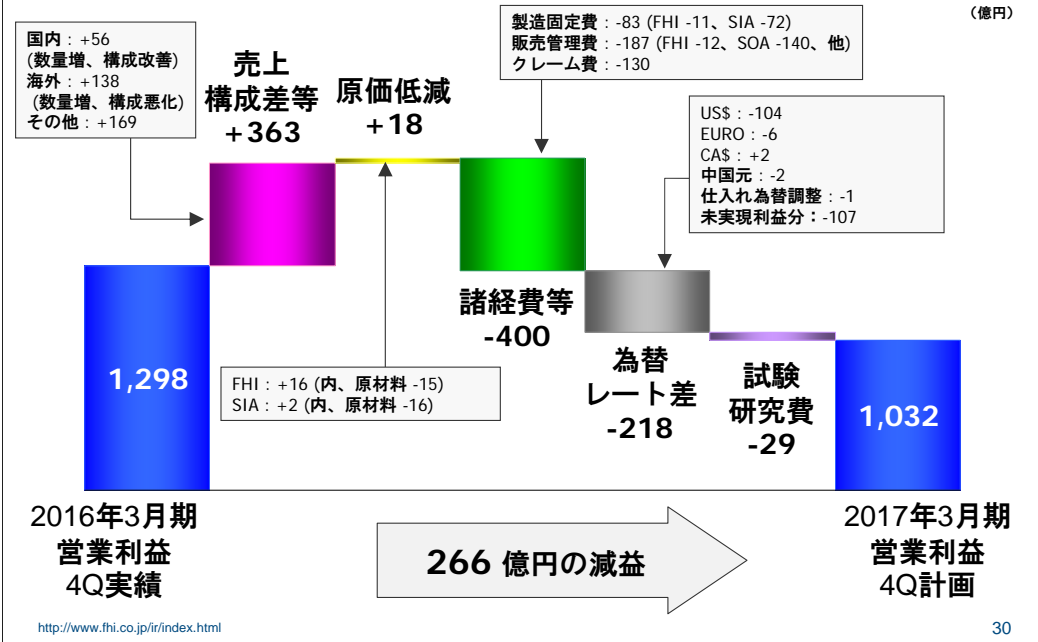
（億円）

	2016年3月期 4Q 実績	2017年3月期 4Q 計画	増減
売上高	8,136	8,821	+685
国内	1,772	2,062	+290
海外	6,364	6,759	+395
営業利益	1,298	1,032	-266
経常利益	1,430	1,148	-282
税前利益	1,385	1,132	-254
親会社株主に帰属する 当期純利益	989	825	-164
単独為替レート	¥118/US\$	¥113/US\$	-¥4/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29

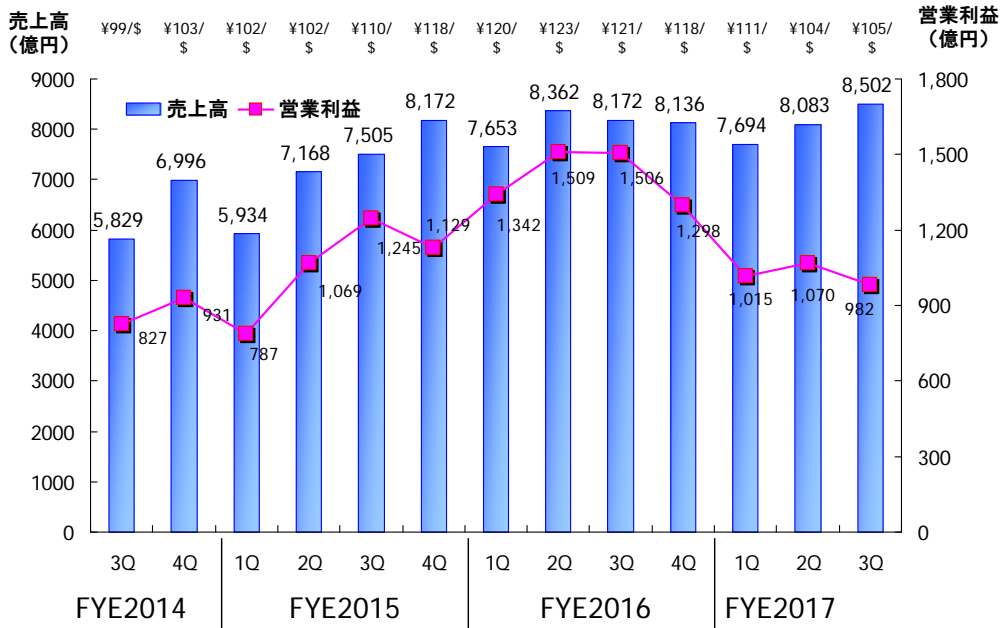
第4四半期（3か月） 営業利益増減要因



ご参考 (3)

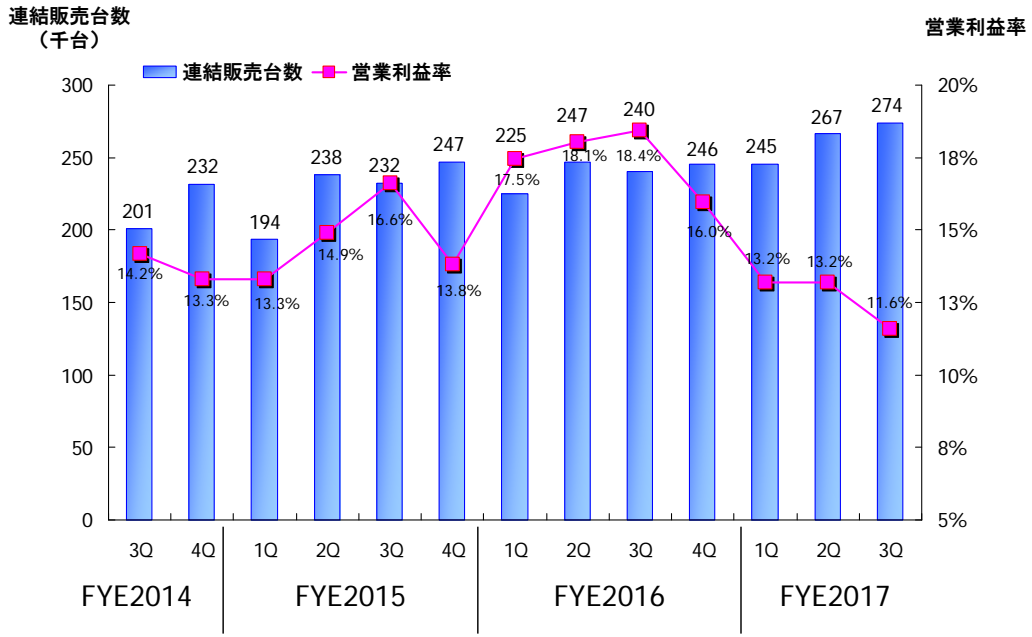
- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

売上高 / 営業利益 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

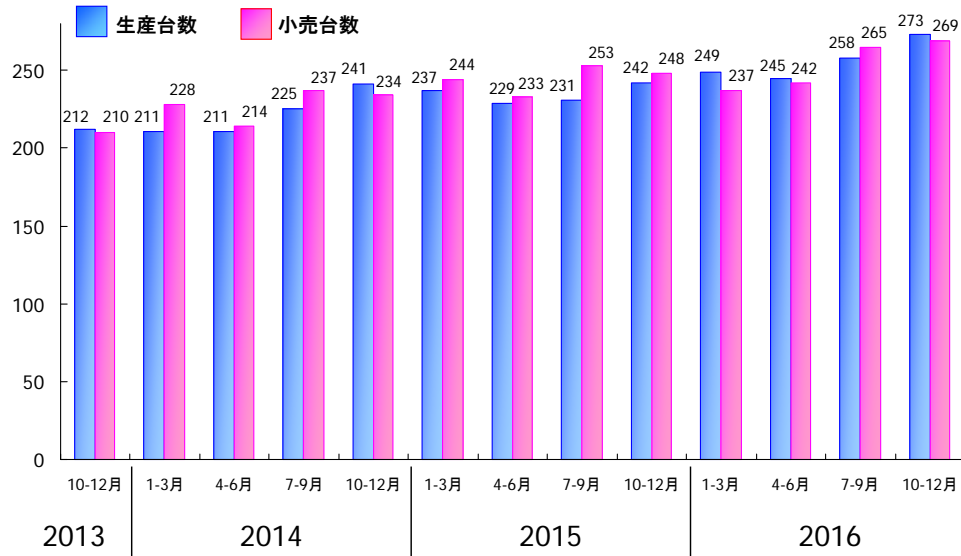
連結販売台数 / 営業利益率 推移



生産台数 / 小売台数 推移



(千台)

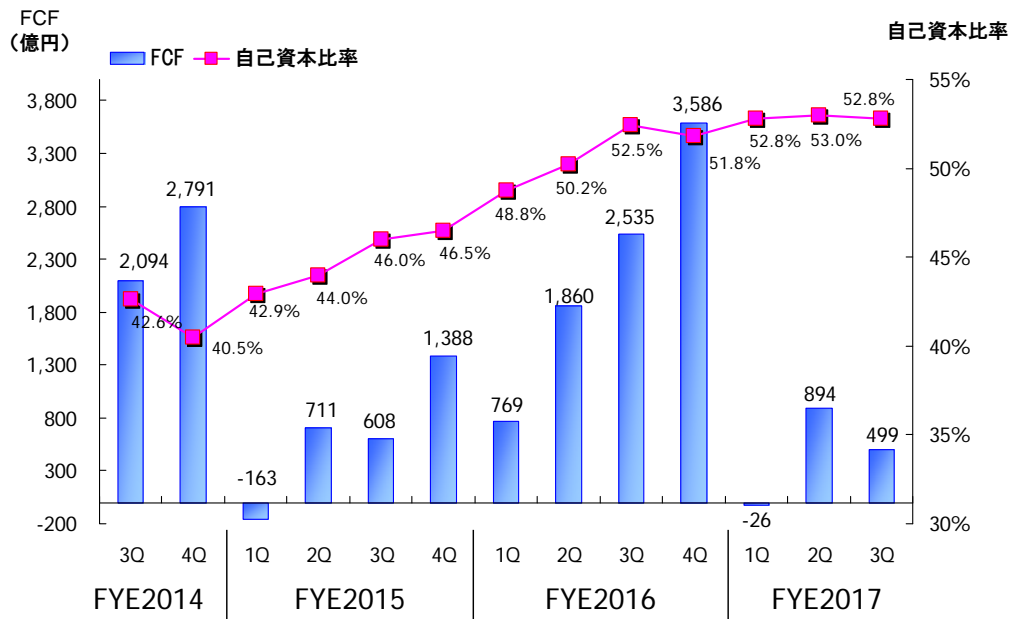


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

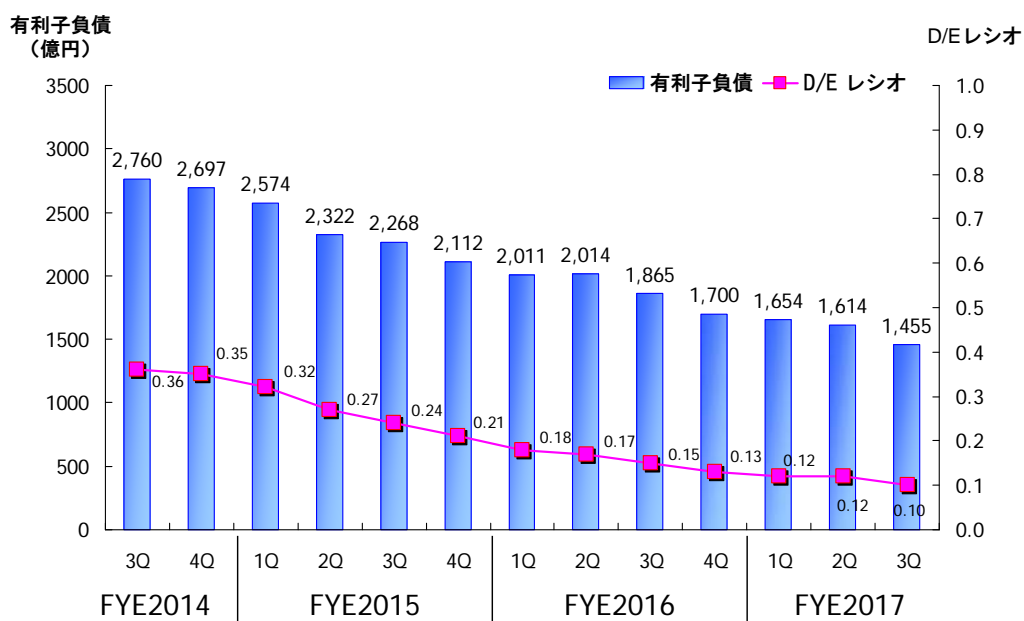
34

FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

第3四半期 主な広報発表案件



経営財務

(発表日)

- 米国でのインプレッサ生産を開始 (11/2)
- 産業機器事業の終了を決定 (11/2)
- 運転支援システム「アイサイト」を中国市場へ初展開 (11/11)
- ヤマハ発動機との間で汎用エンジンの一部及び米国販売会社の譲渡に関する契約を締結 (12/7)
- 先進運転支援システム「アイサイト」搭載モデルが世界累計販売台数100万台を達成 (12/14)

受賞関係

- 平成28年度 証券アナリストディスクロージャー優良企業に選定 (10/7)
- 第21回 IR優良企業賞を受賞 (11/14)
- アイサイトを搭載する新型インプレッサ、レガシィ、フォレスター、レヴォーグ/WRX S4が2016年度 予防安全性能アセスメントで最高ランクを獲得 (12/1)
- 新型インプレッサSPORT/G4が「2016-17日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞 (12/9)
- 基準が強化された米国IIHSの2017年安全評価で「トップセイフティピック (TSP) +」を獲得 (12/14)

商品・CSR・環境情報

- 新型「インプレッサ」を発表 (10/13)
- 新型「ジャスティ」を発表～衝突回避支援システム「スマートアシストⅡ」を全車標準装備 (11/9)
- 「SUBARU VISIV-7 SUV CONCEPT」を2016年LAオートショーで世界初公開 (11/18)
- 新型「インプレッサ」1.6Lエンジン搭載グレードを発売 (11/28)
- 新型「シフォン」を発売～衝突回避支援システム「スマートアシストⅢ」を全車標準装備 (12/13)
- 三鷹市総合スポーツセンターの命名権を取得～施設の愛称は「SUBARU総合スポーツセンター」～ (11/8)
- 環境省「エコアクション21バリューチェーンモデル事業」を導入(11/25)
- 環境展示会「エコプロ2016」に出展 (12/1)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

37



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみにも全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>